

北海道 150 年事業 事業計画（素案）の概要



北海道 150 年事業実行委員会

（事務局：北海道総合政策部政策局北海道 150 年事業室）

1 実施事業

【スケジュール】

実施主体	項目	2017 年	2018 年	2019 年～
実行委員会	記念セレモニー		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 150 年ウィーク 7/14～8/8 ● 記念式典 8/5 </div>	
	パートナー事業	PR 4～12月	1～12月	
関連団体等	北海道みらい事業等	応援企画 4～12月	1～12月	
道	関連推進施策		1～12月	
実行委員会	事業 PR	● カウントダウンイベント ● キックオフイベント 1～3月 ● ウェブサイトによる PR	2017 年 4 月～2018 年 12 月	

(1) 記念セレモニー

① 記念式典

- 時 期：2018 年 8 月 5 日（日）
- 場 所：北海道立総合体育センター「北海きたえーる」
- テーマ：先人に学び未来につなぐ
- 内容例：式典、アイヌ文化や歴史の発信、北海道の未来を支える産業や技術の紹介、子どもたちのパフォーマンス、アーティストのステージ

② 北海道 150 年ウィーク

学生の夏休み期間などを含む数週間を「北海道 150 年ウィーク」とし、実行委員会が開催テーマを定め、様々な主体が各種の記念行事等を開催。今後募集を実施。

- 期 間：2018 年 7 月 14 日（土）～8 月 8 日（水）
- 場 所：道内外の各地
- 想定テーマ：食、アート、文学、音楽、歴史・文化・自然、スポーツ、科学、国際 等

③ パートナー事業

企業・団体等が、自らが持つ企画力やノウハウを発揮し実施。今後も募集を継続。

- 1 次登録～25 企業・団体（17 プロジェクト）の概要
 - テレビ局や航空会社などによる PR、
 - 食品メーカーと流通企業のコラボによる食のイベント開催や PR、
 - 北海道遺産の追加選定、新聞社による関連フォーラムや特別展の実施 等

(2) 北海道みらい事業等

- 北海道みらい事業 ～2018 年に、全道各地等で様々な主体（道民、団体、企業、市町村、道（振興局）等）が実施する事業。
- 北海道 150 年事業応援企画 ～2017 年に、P Rを目的とする取組。

名 称	登録数 (6/7 現在)	概 要
北海道みらい事業	14 事業	松浦武四郎関連イベント、書籍・写真集の出版、道産食材を活用した料理フェア 等
北海道 150 年事業応援企画	19 事業	

* 必要に応じて、実行委員会や道等が支援を実施。

(3) 関連推進施策

北海道 150 年を契機として道等が継続的に取り組む施策や個別事業。

- 2017 年度事業（22 事業、予算総額：976,368 千円）
「新北海道史」の後継史の編さん、民族共生象徴空間リンクージュ事業、北海道未来人材応援事業、北海道スポーツツーリズム戦略的誘客促進事業 等

(4) 事業 P R

- 2017 カウントダウンイベント
2017 年 8 月（2018.1.1 の 150 日前に実施）などに、既存イベントと連携して実施
- 2018 キックオフイベント
2018 年 1 月～3 月に、既存イベントと連携して実施
- P R ツール等
公式ウェブサイト、ポスター、パンフレット等の P R 資材の作成、メディアの活用、公式ガイドブックの発行（12 月発行予定）

2 北海道みらいメンバーシップ

(1) パートナー

自らが持つ企画力やノウハウを発揮し、事業を実施する企業・団体を継続的に募集。

(2) スポンサー

企業、団体等に対して、寄附を募集。

(3) サポーター

個人の皆様に対して、寄附を募集。

また、記念式典等に関して、今後、ボランティアを募集。

(4) アドバイザー

記念式典や個別事業に関する助言や、「北海道の魅力」等を道内外に発信。

事業計画（素案）を踏まえ、今後検討。

3 2017 年度予算

19,003 千円（P R ツール関係 8,600 千円、イベント関係 8,020 千円など）

4 計画の推進

- ・記念式典や関連企画などの取組ごとにプロジェクトチームをつくり、パートナーをはじめとする企業・団体等の支援や協力を得ながら推進。
- ・プロジェクトチームのリーダーなどからなる運営会議で、個別事業の調整を実施。
- ・実行委員会構成員以外の皆様からも意見を伺い、年内に事業計画（原案）を取りまとめる予定。